

自分を見つめ、全力で取り組み成長した スポーツフェスタ！

山々が少しずつ色づいてまいりました。平素は聖母の小さな学校の教育にご協力いただき、感謝申し上げます。在籍しております 5 名の生徒も、それぞれにふさわしい努力を重ねております。

さて、暦はいよいよ 11 月となり、2 学期の学びを実りあるものに整えていく時期になりました。人間が成長する上で、例えマイナスのように見えても、意味のないものは一つもありません。それは、教師や保護者にとっても同様です。どうぞ、ご自分の全て、又、生徒の全てを見る、そして受け止める、大きな暖かなまなざしを持ってこの時期を過ごしてください。

去る 10 月 11 日（土）、本校の体育祭である「スポーツフェスタ」を実施いたしました。生徒たちが全力で自分と向き合い、取り組んだ行事でした。テーマは次の言葉でした。

すべてが信じられなかった。
自分がダメだと思っていた。
今の自分を考えたくなかった。
苦しくて、どうしようもなく、逃げていた。
聖母で自分と向き合うことを学んだ。
仲間と共に、逃げないで生きたい。



生徒たちは、先生から、これでもか、これでもか、と思うくらい自らを問われ、自分の中から絞り出すように思いや考えを出し、テーマができました。今の自分に最もふさわしいものになりました。中でも生徒たちが最も強く実感したのは、「自分と向き合うことを学んだ」ということでした。人間としての基本であると同時に大切なことを得てくれたと思います。

当日は、OB やその保護者、又、尾関善之舞鶴市議会議長、舞鶴市教育委員会佐藤裕之教育長はじめ、舞鶴ライオンズクラブ、国際ソプロチミスト舞鶴、東西更生保護女性会、又、校長先生、原籍校の先生方、総勢 80 余名の方々の温かな応援と励ましがありました。そして、集った皆が、できるかできないかや、優か劣かを超えて、人間の持たせられたものや持っているものを出し切ろうとしている姿を、人間そのものの姿として尊いものと感じた 1 日になりました。本当にありがとうございました。生徒たちも、スポーツフェスタを通じてつかんだ 1 人 1 人の課題を意識して、2 学期以降の学びを続けます。

1 人 1 人が自立し、それぞれの新しい社会で生きることができるよう、導きたいと思います。又、保護者も励まされ、子どもと共に、この現実を生きる勇気を得たことでしょう。良い 2 学期にしていきたいと思います。



教育長自ら激走されました！